



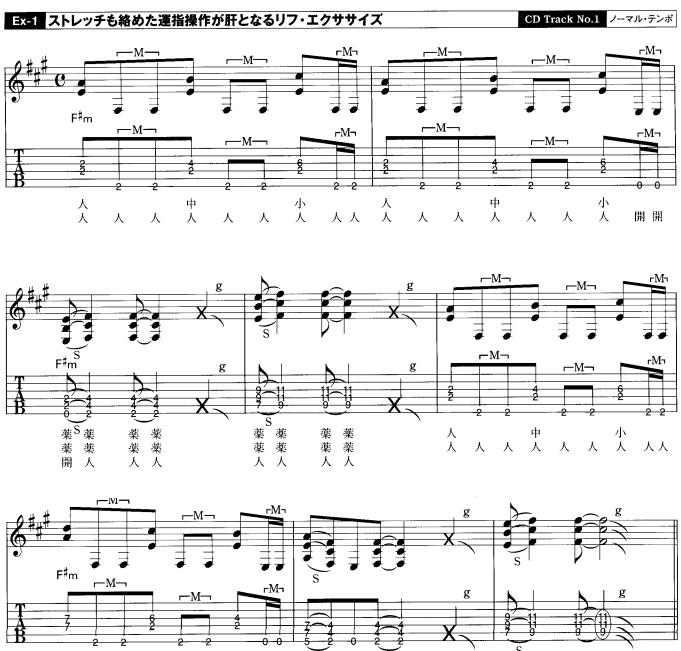
一聴した感じではオーソドックスなリフに思えるかもしれないが、プレイ的な難易度はトップ・レヴェルという、いかにもジェイク風なEx-1。6&3、4弦2fは人差指で押さえるが、バレーしたままにせず、ジョイントの要領で指の角度を随時調節して6&3、4弦を交互にミュ

ートし、音を分離させること。さらに目一杯ストレッチして、1 & 2 小節 4 拍目では 3 弦 6 fを小指で押弦。

6小節目の3、4弦7fを押さえる時は人差指が2fから一瞬離れても大丈夫だが、音切れには注意しよう。

薬薬

薬



\$ 薬薬人

開

中

開開

薬薬人

薬人



薬薬

薬

薬

薬

薬

開

開

薬

薬

薬

開

開

Ex-2の1~6小節目のコードは、2弦までし っかりピッキングしてコード内の3rd音をクリ アーに鳴らし、分数コードの響きを明確にする のがポイント。1、2小節目と5、6小節目は単 に譜割が少し変わっただけでなく、ピッキン

グ・ダイナミクスでグルーヴの違いを表現する ことが大切だ。8小節目のフィル・イン部分で は、2拍目の4弦5fや3、4拍目の3弦開放が きれいに鳴っているかに注意しつつ、まずはス ロー・テンポから練習を始めてみよう。



Η

開

薬

薬

薬

人

開

人 薬

開人薬

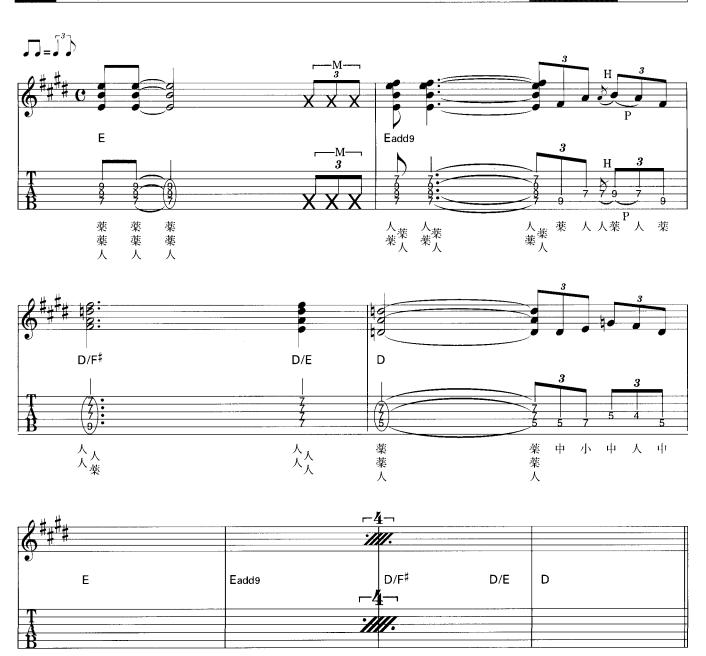


Ex-3では、まずアップ・テンポでのシャッフ ルのノリを捉えるのが先決。1小節目のコード は普通にダウン&アップでピッキングするが、 ブラッシング後の2小節目は、[V(アップ)& V] か [V & 禹 (ダウン)] という変則的なピッキ ングになるので、リズム感の善し悪しが音には っきりと表れてしまう。

また偶数小節のフィル・インは、総て3連の 裏から始まる。各3拍目頭を空ピックにし、3 連オルタネイトでピッキングするとよい。

Ex-3 ジェイク流のコード・アプローチに基づいたリフ・エクササイズ

CD Track No.4 ノーマル・テンポ



小人開藥人開藥人開藥人開藥人開藥人開人



Ex-4にある5弦3f&7fのストレッチは、ネック裏に添える親指の位置を下げたフォームにすれば難なく届くはず。開放弦へのプリングは十分に強く、またノリ良く行なおう。4小節目は意外に簡単なフレーズだが、各音のバランスと開放弦のノイズには注意したい。

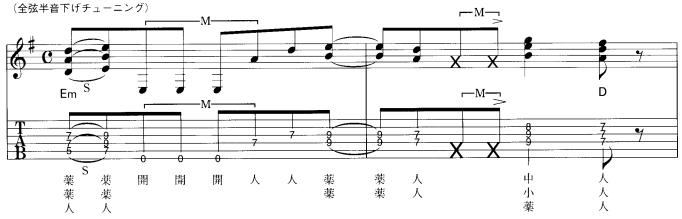
Ex-5の3、4小節目(次頁参照)は人差指と 薬指による一般的なパワー・コード型でも演奏 可能だが、小指及び中指のバレーで押さえるジェイク流にして、特に小指のバレーを鍛えてみよう。



Ex-5 中指&小指のバレーを鍛えるリフ・エクササイズ CD Track No.7 ノーマル・テンポ

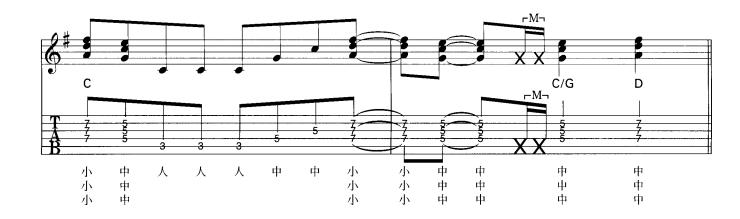
人

人



Ex-5 is continued on the following page →

人



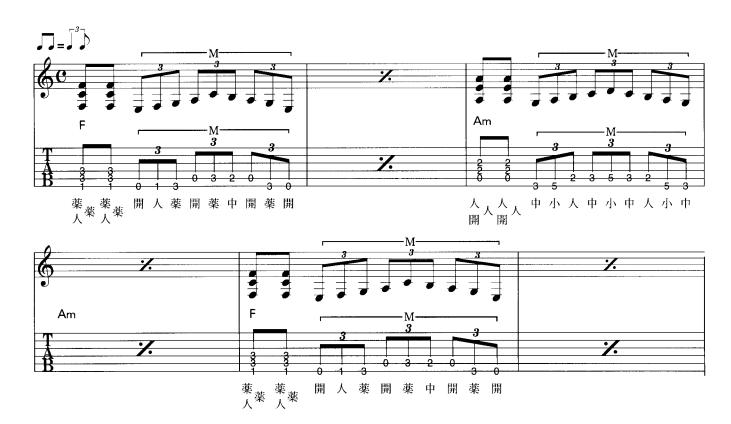


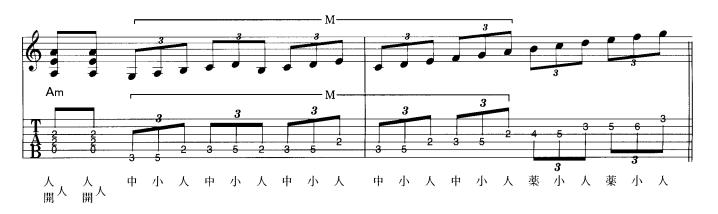
Ex-6ではピッキングに注意。各小節 1 拍目の コードを何気なく [■&V] でピッキングする と、2拍目の頭がダウンで始まる3連のオルタ ネイトになる。しかし、この方法では2小節目 の頭がアップになってしまい、同じリフを異な るピッキング順で弾くハメになってしまう。そ こで、コード部を[■&■]で弾き、2拍目をア ップから始めるようにすると、各小節同じピッ キング・パターンでプレイできる。もう1つ、 コード部を [V&V] でピッキングすれば、フレ ーズの流れに従って2拍目の頭をアクセン NC しやすい。

7、8小節目は、Cメジャー・スケールによる3f 位置でのボックス・シェイプに則したフレーズ 構成となる。アドリブ・プレイ時などにも応用の 利くフレージングとして手に馴染ませておこう。

Ex-6 低音弦を主軸にした上昇・下降のソロ・エクササイズ

CD Track No.8 ノーマル・テンポ CD Track No.9 スロー・テンポ



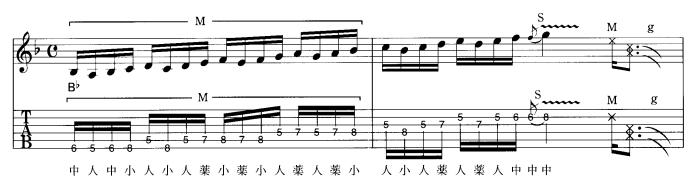




Ex-7は、16ビートのオルタネイト・ピッキングでスケールをメカニカルに上昇するだけ…と思いきや、意外な奥の深さを持つフレーズだ。スケールはFメジャー・スケールだが、Bb、Cの各コードのルートからスタートするモード的な構成となっている点に注目。しかも、1拍毎の頭の音に着目すると、各コードのルート、3rd、5th、7th、9th、11thの順でコード・トーン及び

そのテンションが整然と並んでいることに気付くはず。このあたりにジェイク流ならではのメロディアス感を生む秘訣があるようだ。同様なEx-9の前半も含めて、総てFメジャー・スケールのボックス・シェイプから成っているので、左手のポジションにミスが出る人は基礎トレーニングからやり直し…と言うより、このフレーズをそのエクササイズとして活用するとよい。



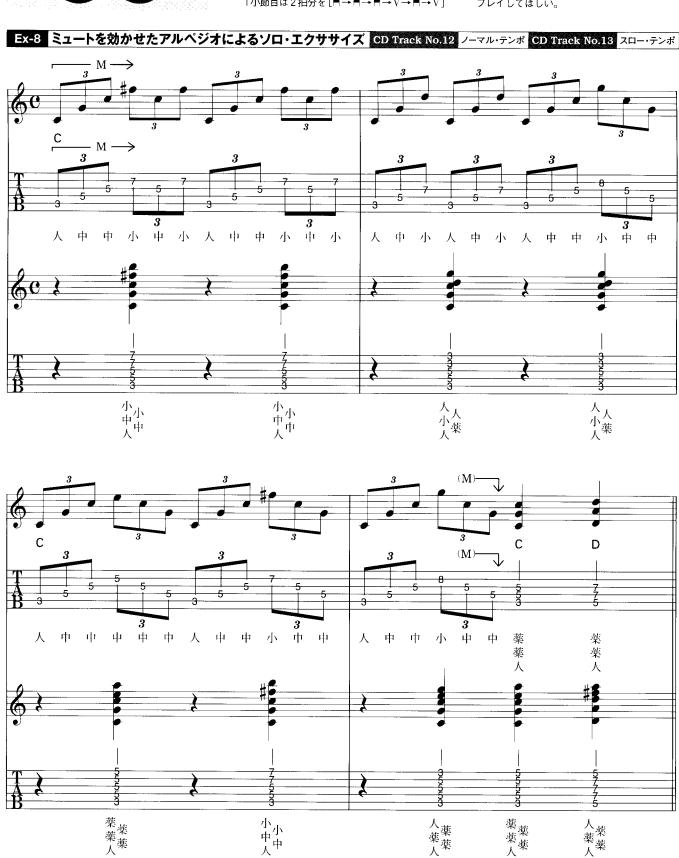






Ex-8 はコード C のテンションを巧みに使ったアルペジオ・フレーズ。まず左手のフィンガリング面においては、5 f を中指のジョイントで押さえるのがミソとなる。その状態からさらに小指も伸ばし易いフォームを予め確認しておくこと。そして、右手のピッキング・パターンだが、1小節目は2拍分を [■ → ■ → ▼ → ▼ → ▼ → ▼]

でピッキング。 2小節 1、 2拍目は 1拍毎に [$\neg \rightarrow \neg \rightarrow V$] のエコノミーで、 3、 4拍目は [$\neg \rightarrow \neg \rightarrow V \rightarrow V$] のスウィープとなる。 メリハリを付けるため、CD音源は 2、 4拍目にアクセントを付けてプレイしているので、下段のバッキング譜でアクセント位置を確認してからプレイしてほしい。

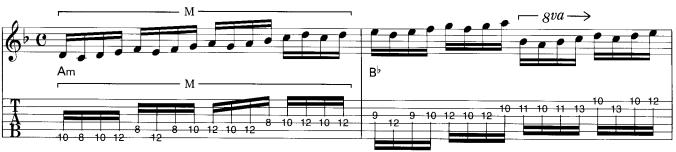




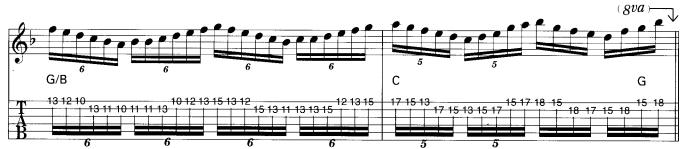
Ex-9の1、2小節目は、Ex-7と同様のスケール上昇フレーズで、ボックス・シェイプを1弦まで完全に上昇するだけ。全体にピッキングと弦移動が定型にならないので、押弦位置を的確にピッキングする基礎トレーニングが重要…と言うより、やはりこのフレーズでトレーニングするのが最も効果的だろう。

3小節目からは、トップ・ノートを順次上昇 させることを優先したユニークなフル・ピッキ ング・フレーズ。ジェイク流のアレンジ・センスを体感するのにも最適なものだ。まずは6連部分のピッキング・スピードに到達することが最重要だが、ピックをフラット・アングルにし、同時に右手の不要な力を抜かないと、ピックと弦が擦れる音ばかりで、肝心な音がクリアーに鳴ってくれない。その点に気を配りながら2拍単位に区切って練習を積み重ねてみよう。





中人中小人小人中小中小人中小中小一人小人中小中小人中人中小人小人菜



葉中人薬中人中中葉人中薬小中人小中人中中小人中小 小中人小中人中小人中菜 人 葉 中 人 葉 人 菜

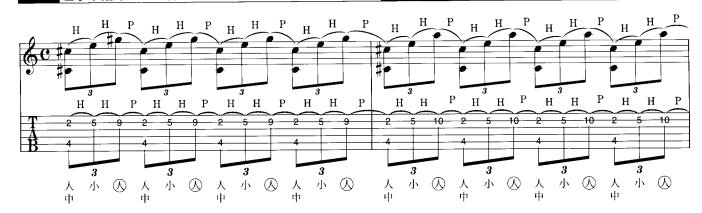


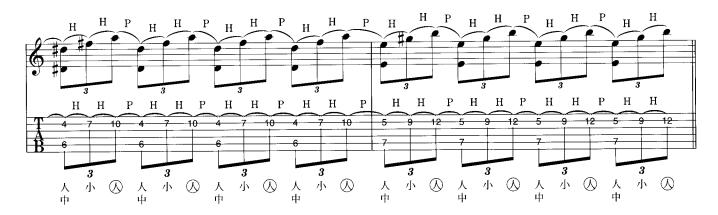


Ex-10は、ベーシックな3連タッピングにベース音を加えたジェイク流のユニークなアプローチ。最初の1音は、左手人差指&中指のTAPでオクターヴを発音させるが、2拍目の頭では右手TAPからのプリングと同時に左手中指のみTAPで発音させる。混乱しないように、まずは手順を確認してからプレイに挑もう。その際、左手中指のTAPと小指のハンマリングが弱くならないように注意すること。

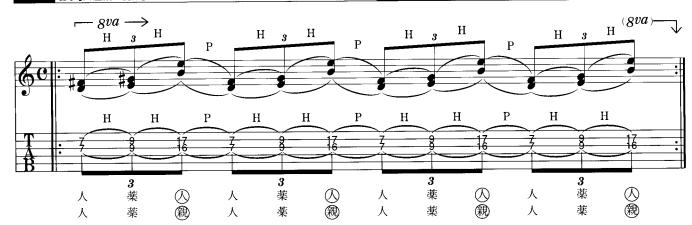
Ex-11も"ジェイク・フェイク"彷佛の2和音 タッピング。まずは第1音目となる和音を十分に強くTAPすることが肝。薬指はできるだけ指板に平行な角度にして、2、3弦を同じ音量でハンマリングするように。TAPする右手は中指と人差指を使うこともできるが、ピックを持つ時とほぼ同じフォームで親指と人差指でTAPするのがジェイク流だ。

Ex-10 左手中指でベース音を加えるタッピング・エクササイズ CD Track No.16 ノーマル・テンポ CD Track No.17 スロー・テンポ





Ex-11 右手[人差指+親指]で2本弦を同時TAPするタッピング・エクササイズ CD Track No.18 ノーマル・テンポ CD Track No.19 スロー・テンポ

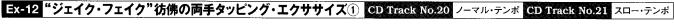


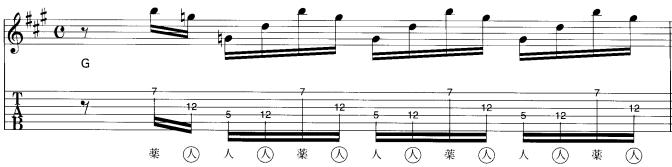


Ex-12は、両手のタッピングによるノン・レガートなフレーズ。右手は、左手に連動した弦をTAPしたくなるものなので、3弦12f&4弦12fにしっかり固定しておこう。左手の音量が小さくなりがちなので、右手のTAPの音量に揃えるように強めに叩こう。また、4弦12fはハンマリング気味に発音するとフレーズのニュアンスが変わってしまう。右手でTAPすると同時

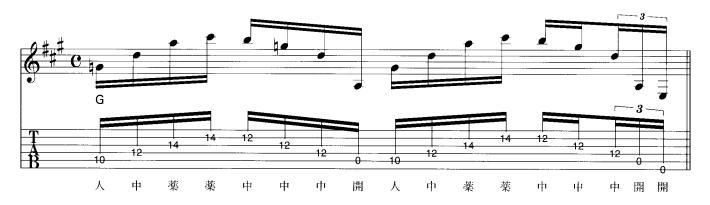
に、左手人差指を弦から離してしまうような感 じで叩くとよいだろう。

Ex-13は、和音を押さえる薬指と中指をバレーしたままにせず、ジョイントのように指の角度と力の入れ具合を1音毎に調節して、和音にはせずに、できるだけ分離させるように心掛けよう。ビッキングはスウィープだ。





Ex-13 "ジェイク・フェイク"彷佛のアルペジオ・エクササイズ CD Track No.22 ノーマル・テンポ CD Track No.23 スロー・テンポ



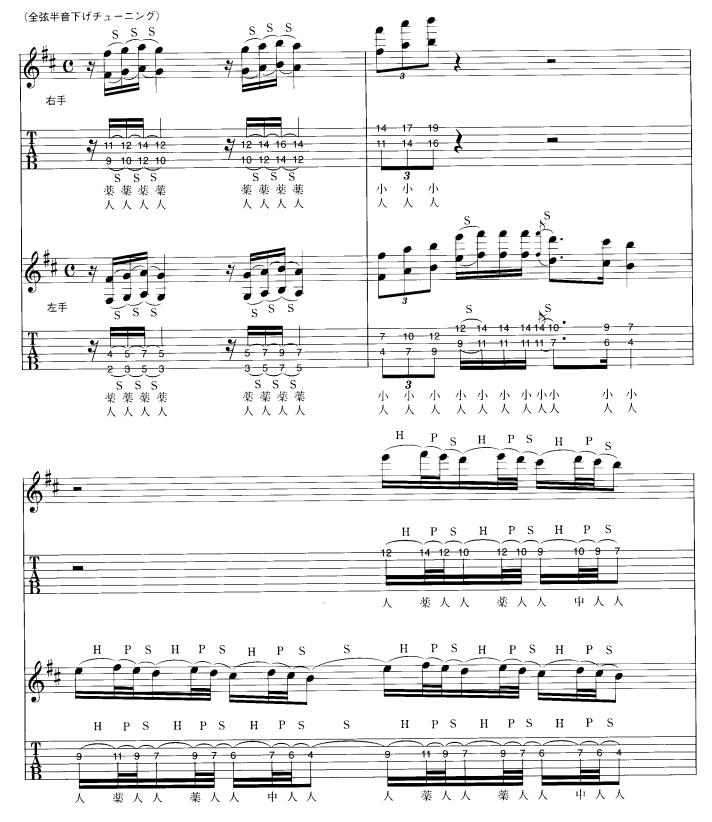




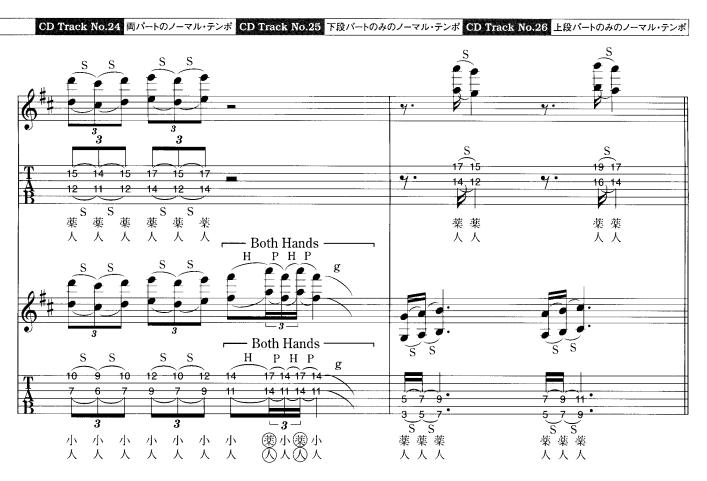
両手のTAPでオクターヴ奏法をツインにした、3オクターヴ・サウンドによる分厚いサウンドが特徴のEx-14。1小節目や4小節目前半はユニゾンなので、左手のカみやスライドに伴うフォームの乱れによるピッチの狂いに注意しよう。特に上昇後の下降スライドはカみがちだ。

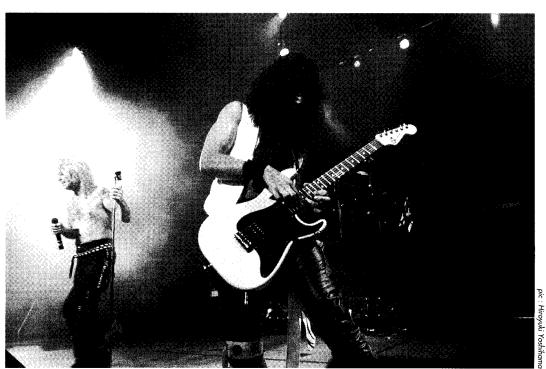
また2小節1拍目のように、ポジションがかけ離れた位置(上段1弦14fと下段4弦4fなど)でのオクターヴは、ギターのオクターヴ調整が完璧でないとサウンドが濁ってしまう。4小節3拍目は、オクターヴ状態でのタッピング。右手人差指&薬指でオクターヴ・フォームを作り、

Ex-14 "ジェイク・フェイク"彷佛の両手タッピング・エクササイズ②



2本の指を同じ強さ、同じタイミングでTAPすることが大切だ。右手は、各指から指板までの距離が同じになるように構え、スピーディに弦に叩き付けよう。





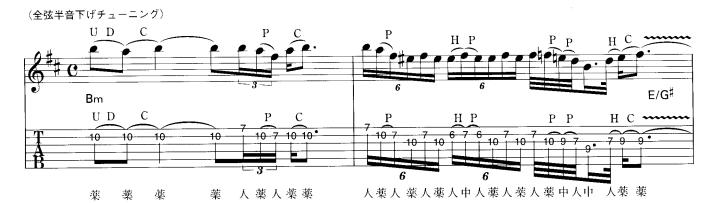


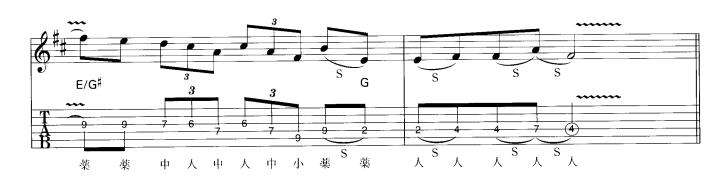
ブルース・テイストをフィーチュアした **Ex-15**。1小節目はペンタトニック・フレーズだが、チョーキングの上げ下げの粘りでブルース・フィーリングを表現しよう。2小節目は b 5 th 音(3 弦 10 f & 2 弦 6 fの F 音)を加えてさらにブルース臭が強くなる。1 拍目裏から2 拍目まで、b 5 th を含む全く同じ3音フレーズをポジションを変えて3回も繰り返す辺りの押しの強さが

ジェイクらしさを生む部分となるかも。 3小節目の3連符は、譜割に忠実に弾くことよりタメの感覚を表現することが大切だ。

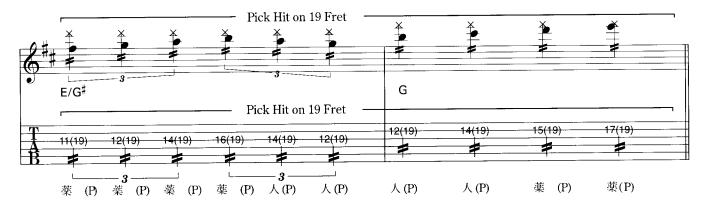
7、8小節目は、3弦と同時に19fのバーそのものをピッキングするような感覚で、弦とピックの摩擦ノイズをたっぷりと加えてトリッキーなサウンドにする。やや力技だが、力むとピッキング・トリルが高速にならないので注意。

Ex-15 "ジェイク・フェイク"風のワザを効かせたソロ・エクササイズ CD Track No.27 ノーマル・テンポ CD Track No.28 スロー・テンポ

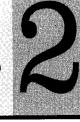








Chapter 6





ジェイク流の多彩な バッキング手法が体感できる 例題エクササイズ

Chapter 2では、ジェイク流のブルージーなソロ・アレンジ術と 多彩なバッキング・アプローチが体感できる 例題曲を用意してみた。 各パートの攻略を通して、一筋縄では行かない ジェイク・スタイルの奏法エッセンスを 学んでいただきたい。

Chapter 2 (Ex-1~Ex-7) の譜例解説は 付録CDのTrack No.29~43に連動しています。 それぞれのトラック内容は以下の通りです。 各自のニーズとレヴェルに合わせて譜面とリンクさせながら活用してください。 ※CD音源で聴けるEx-1~Ex-7は総て半音下げチューニングでプレイしています。



各エクササイズ・フレーズのサンプル・トラック



リフ・エクササイズ Ex-1の例題音源 (ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-2の例題音源 (ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-3の例題音源 (ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-4の例題音源 (ノーマル・テンポ)



バッキング・エクササイズ Ex-5の例題音源 (ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-6の例題音源 (ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズEx-6の例題音源 (スロー・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-7の例題音源 (ノーマル・テンポ)



ソロ・エクササイズ Ex-7の例題音源 (スロー・テンポ)



Ex-6(ソロ・パート)の ギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)



Ex-6(ソロ・パート)の ギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)



Ex-7(ソロ・パート)の ギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)



Ex-7(ソロ・パート)の ギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)



Ex-1~Ex-7(オール・パート)の ギター・マイナス・カラオケ(スロー・テンポ)



Ex-1~Ex-7(オール・パート)の ギター・マイナス・カラオケ(ノーマル・テンポ)



コード進行だけに注目すると、キーEのダイアトニック・コードを主体としたオーソドックスな構成だ。殆どのコードがパワー・コードではなく3rdをはっきりと弾いているため、ロックとしてはかなり明るい印象だ。しかし、メロディー類にはミクソリディアンやペンタトニックを多用しており、これらのスケールに含まれ

るEに対する7thやb3rdがブルース臭さやロックらしい力強い響きを醸し出している。 Major3rdと7th及びb3rdの共存は、時としてトーナリティーを失う要因となるが、今回の例 題曲ではそこをきっちりと音楽的に整理してある…その点にも注目されたし。

	Intro										
N.C.	E	В	A E	В	A E	sus4 E	B D	Es	us4 E	В	D
В											
:Esus4	E E	3 D	Esus	4 E	В	D	Esus4	E	В	D	
Esus4	E E	3 D	С	(Manager	Amadds	9	С		В	Bs	us4
_											
C E	1		l .		5	_	ı		ا ا		c
E	ļ		Α	С	D	E			Δ	\	С
,			****								
1. C	D E	<u> </u>	В	Α	E		В	Α	2. : C	D	
		<u> </u>									U
D											
Badd9	A7su	s4 A7 B7	sus4	Bsus4 B	Badd9	A	sus4 A7	B7sus	s4	Bsus4	В
E L_#	1_	_#		l _	l _ #	!=		l - #		-	1
F [#] m ⁷	E	F [‡] r	<u>m7</u>	E	F [#] m7	E		F [‡] m7	·	E	
E											
F Am7	G	An	n7	G	Am7	G		Am ₇		Bm7	Bsus4
	1			I							
G											
G E		A		Cadd9 D	Е			Α	C		D
H	I	1.			1_	1		١.			5
E		Α		C D	E			Α		С	D
I											
Esus 4	Е	В	D	Esus4	Ε	В	D		Esus 4	Е	
								l			
				1		Tempo	Free	ı	ı	•	1
В	D	Esus4	Ε	В	D						



Ex-1の前半は、パワー・コード全体をスライドさせつつも、6弦開放のEを十分に伸ばすのがポイント。5弦を押さえる人差指は6弦に触れないようにするが、3拍目で1、2弦開放を鳴らすには、人差指を十分に立てておきつつ同

時に薬指で3弦を確実にミュートしなければならない。5、7小節目は、sus4と3rdとなる3弦を確実に鳴らすこと。また6、8小節目のコードBは、5、4弦と4、3弦の2和音をはっきりと分離させよう。



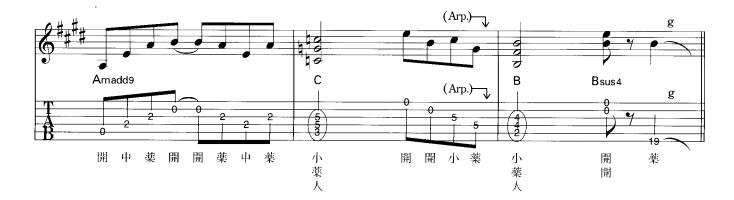


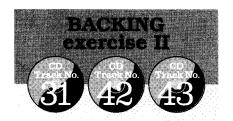
Ex-2の1~8小節は、Ex-1の後半とほぼ同じだが、16分のブラッシングは入らないので大きなノリの8ビートでピッキングしよう。9小節目は、Cのパワー・コードで1、2弦開放を含む総ての音を十分に伸ばしてアルペジオするこ

と。10小節目のAmadd9は、9thの2弦開放をはっきりと鳴らすように。12小節目のB^{sus4}はいわゆる大キメなので、2和音を十分に強いアクセントでピッキングしつつ、他のパートとタイミングを完璧に合わせよう。



Ex-2 is continued on the following page →





Ex-3

Ex-3の1小節目のコードEのフォームは、最初に押さえる時は比較的簡単だが、使い慣れていないとコード・チェンジにまごつくので、イン・テンポの曲の流れの中で練習してみよう。また、ルートと5thのみの5和音なので、ウネリの少ないスッキリしたサウンドが得られるよ

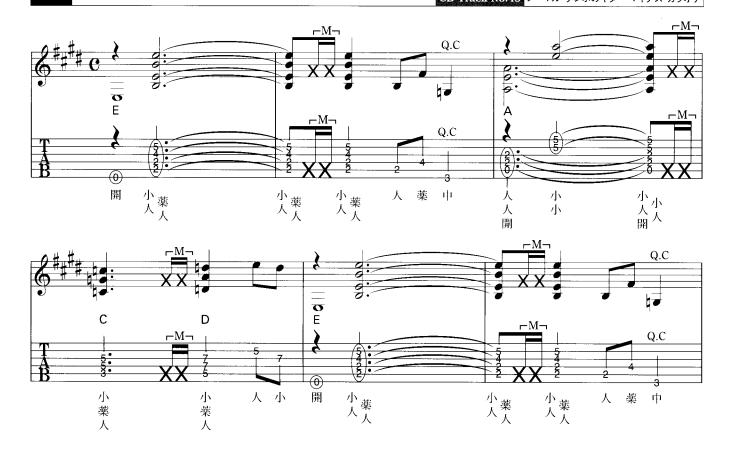
うに、押弦するそれぞれの指の力の入れ具合で各弦のピッチを丁寧にコントロールしておきたい。9&13小節に出てくるBadd9は、小指を十分に立てて押さえ、2弦の9thを確実に鳴らすことが大切だ。

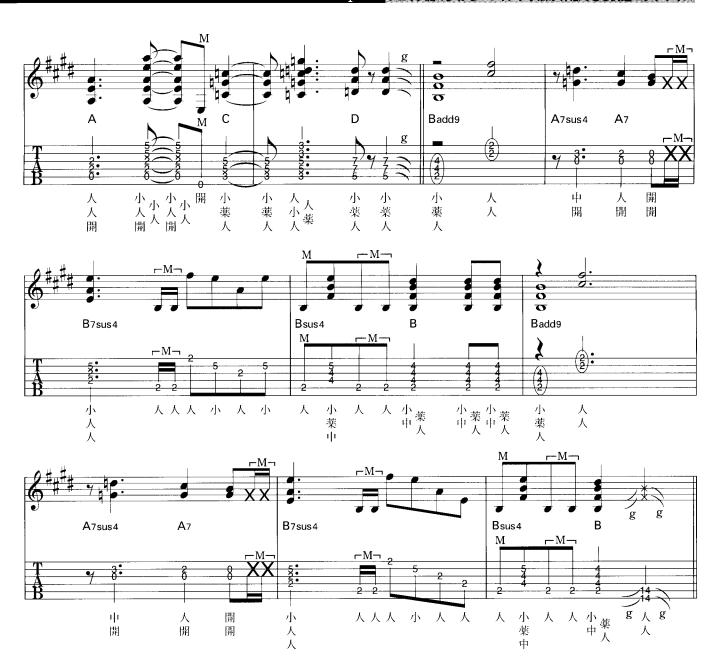
和音の響きを活かしたバッキング・エクササイズ

 CD Track No.31
 ノーマル・テンポ

 CD Track No.42
 スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ

 CD Track No.43
 ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ







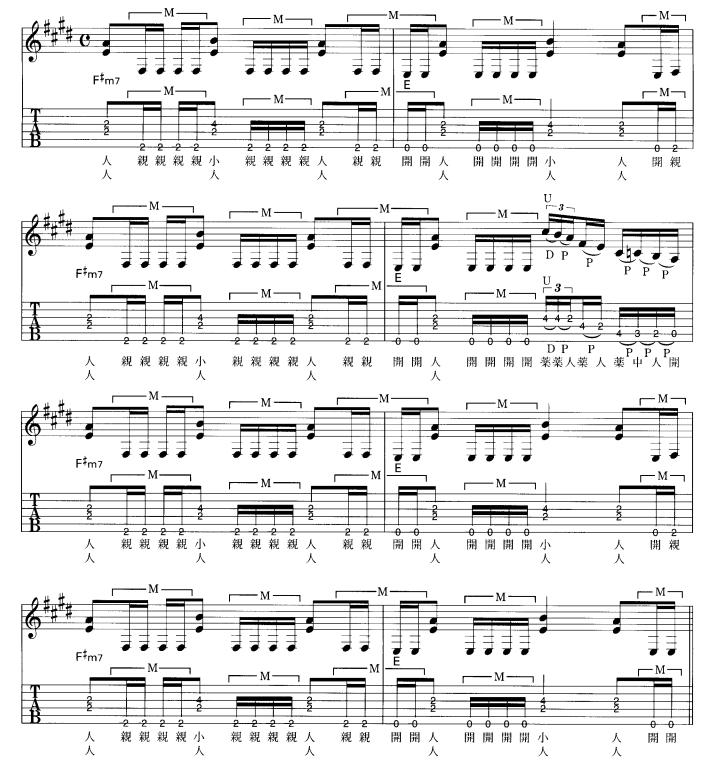


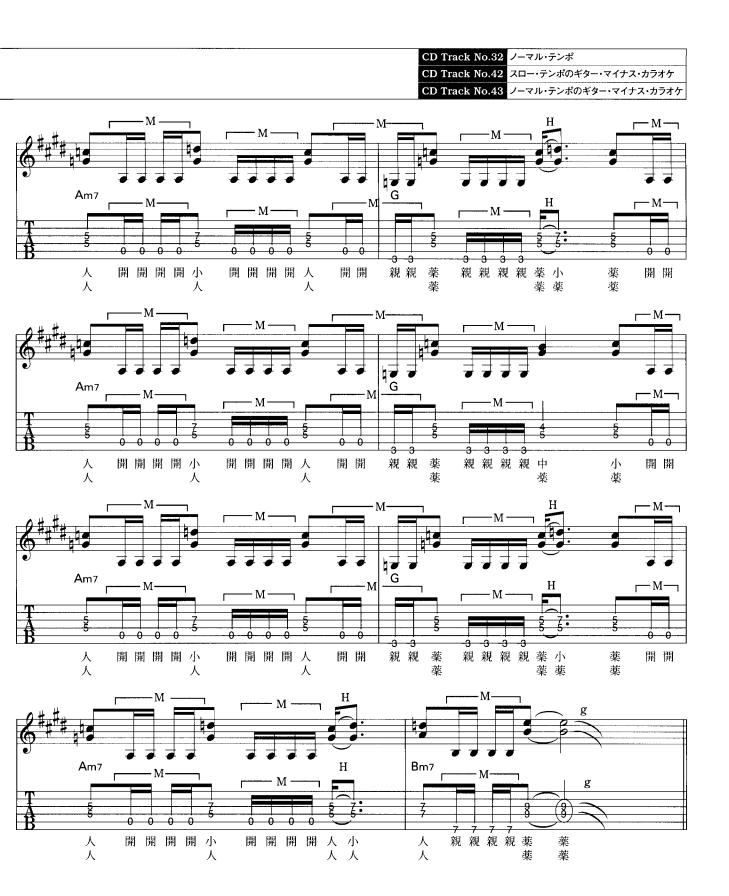
F#m7は、6弦2fのルート音を親指で押さえるが、力みすぎて不用弦を押弦したり、ピッチが変わってしまわないように。また、この時に5弦は人差指の先端で触れてミュートしておこう。前半のキーはEだが、Am7からはキーがG

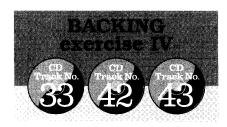
に転調している。コードGのルート音(6弦)は人差指でも押さえられるが、薬指から小指へのハンマリングをスムーズに行なうには、親指で押さえるジェイク流の方がスムーズだ。小指のハンマリングはできるだけ力強く!

Ex-4

6弦親指押弦を交えたバッキング・エクササイズ

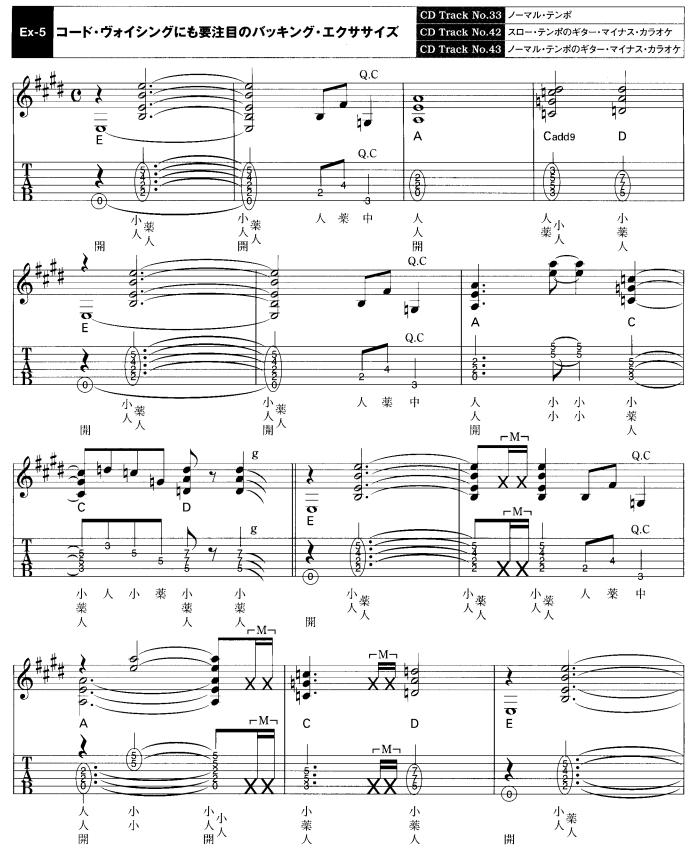


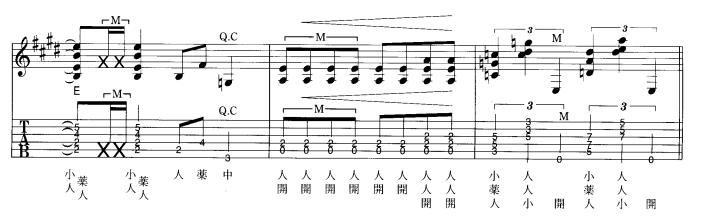


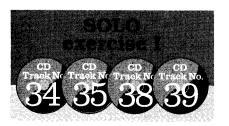


Ex-5は、全体的にEx-3とほぼ同じフレーズとなる。4小節目の Cadd9 は、2弦の9th を強めに鳴らしてコードの変化をはっきりと表現すること。エンディング部分は、最大限のクレッシェンドで盛り上げるわけだが、クレッシェンドのダイナミクスを大きく感じさせるためには、

最初の1音か2音をできるだけ小さい音にすること…場合によっては1音目をピッキングしないのがコツだ。続く2拍3連の大キメは、付点8分風のノリにならないように、1拍3連2つ分の感覚を意識しながらプレイするようにしよう。







Ex-6の1小節目にあるユニゾン・チョーキン グでは、曲のイントロを演出するような強いイ ンパクトを表現したい。チョーキングを粘り気 味に行ないつつ、チョーキング後の音程を適度 にズラして、「ウワンウワン」という速すぎない 心地好いウネリを加えよう。2小節目の3連符 も全体に重めにプレイして、タメでインパクト を強調したいところ。3~4小節目は、グリ

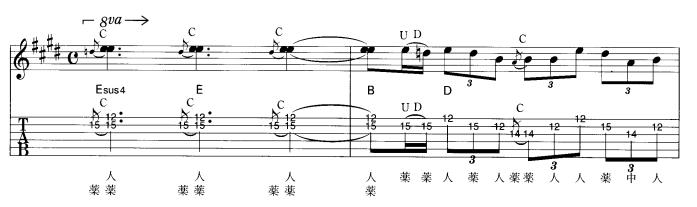
ス・アップから5弦11fまでを重めかつ目一杯 のテヌート(十分に音を伸ばす)でプレイする ことが、4弦9fのスタッカートの効果を最大限 に引き出すコツだ。2拍目は、音の出にくいい イ・ポジションでのピッキング・ハーモニクスな ので、予めハーモニクスが出やすいポジション を見つけておこう。最後の1音チョーキングは、 Q.C的なフィーリングでこなすとよい。

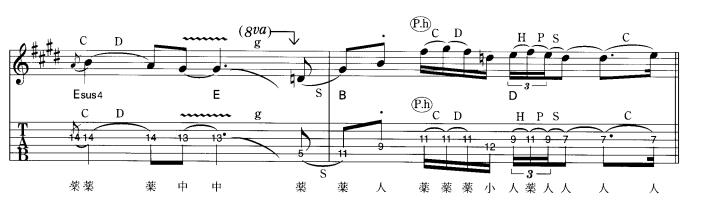
小ワザを絡めたペンタトニック主体の Ex-6 ソロ・エクササイズ①

CD Track No.34 ノーマル・テンポ CD Track No.35 スロー・テンポ

CD Track No.38 スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ

CD Track No.39 ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ







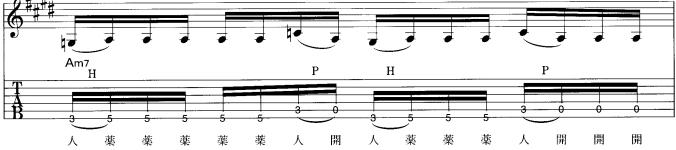
Ex-7の1小節目は、4度から3度へのハーモナイズド・チョーキング。3拍目の頭でジャスト1音のチョーキングになるように上げていく。3小節目は、3拍フレーズのアクセントで、1拍半毎の頭を強めにピッキング。4小節目はペンタトニックとは思えないほど弾き辛いフィン

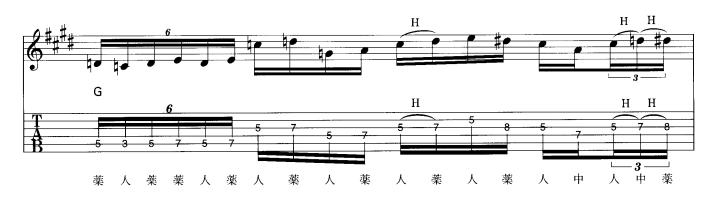
ガリングとなっている。1拍単位に区切って練習しよう。

5小節目は、2、3弦8fの薬指のジョイントを1音1音分離よく弾くのがポイント。薬指の角度調節のみを集中練習するなどして、押弦/ミュートの繰り返しスピードを鍛えよう。スケ

Ex-7 小ワザを絡めたペンタトニック主体のソロ・エクササイズ②







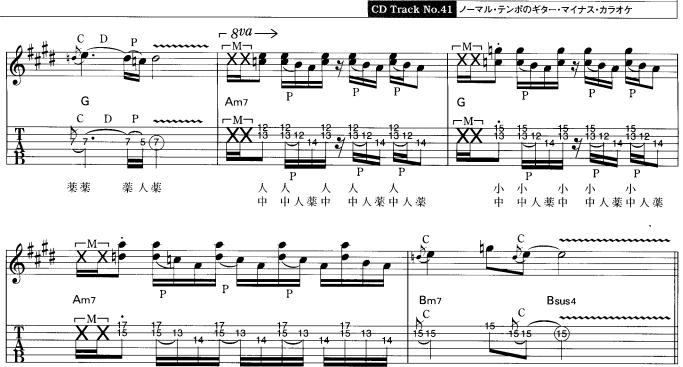


ールとしては、Aドリアン+b5thを使用している。7小節目からのカッティングは、左手でミュートできるのは3弦だけなので低音弦は右手の腹でミュートするが、それによってピックの振り幅が小さくなってしまわないように注意しよう。

小

薬

CD Track No.36 ノーマル・テンボ CD Track No.37 スロー・テンボ CD Track No.40 スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ CD Track No.41 ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ



人中菜人中菜人中菜人中

薬薬

小 薬薬

薬

